

神奈川のお城めぐり1

今日から2回に分けて神奈川県のある有名な城を紹介します。どの城が有名なのか？諸説ありますが、あるサイトによると次の3つが歴史的に重要な城と位置付けられています。

- 1.小田原城(小田原市)北条家の家
- 2.石垣山一夜城(小田原市早川)秀吉が小田原城を攻めるために築城
- 3.河村城(山北町)平安時代から河村秀高によって築城

さらに私が加えたい城は以下の3つ。これは次回紹介します。

- 4.小机城(横浜市)永享の乱の頃に関東管領上杉によって築城
- 5.大庭城(藤沢市)平家側の大庭氏の家
- 6.玉縄城(鎌倉市)北条早雲（伊勢盛時）により築城

今日は3つ取り上げます。小田原城、石垣山一夜城(早川)、河村城(山北町)です。小田原城の周りにある城なので、小田原城と関係が深い。

1.小田原城(2021年10/14晴れ曇り)

みんな大好き小田原城。城の歴史を話すの長くなるし、書籍やネットで記事がたくさんあります。ここでは藤沢からサイクリングで訪れた時の話を中心にします。

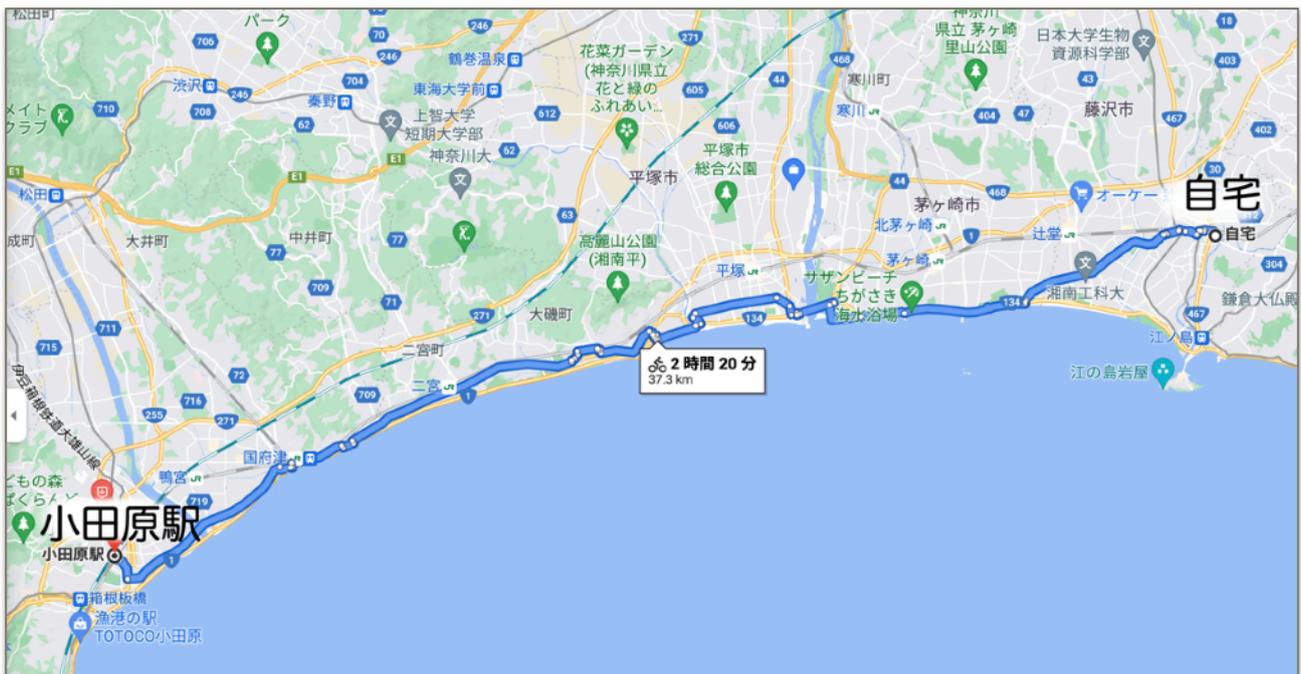


図1-1 小田原城までの自転車で往復 走行距離75km、目指せ100km！

藤沢駅前の自宅から辻堂の方角に走り、湘南工科大前の道を相模湾に向かって走ると国道134号線の海岸道路に入る。海岸道路を平塚、小田原方面にむけて走る。国道1号線に比べて信号も少なく快適に飛ばす。ところどころ松並木が切れているところから湘南の海がキラキラ光っているのが見える。このルートは箱根登山マラソンのコースになっている。正月には沿道にびっしりと応援に駆けつけた庶民の人垣が箱根まで続く。

海岸の中に遊歩道もあるが、所々砂に埋まっているので自転車のタイヤが砂に埋まり動けないことがある。またサーフィンの坊や達がサーフボードを抱えて半裸で歩いているので自転車ですれ違う時に気を遣う。

藤沢を出ると辻堂、茅ヶ崎、平塚まで国道134号線。そこから大磯の漁港を經由して太平洋自転車コースに入り、西湘バイパスと並行して走る。青い相模湾を見ながら松並木の中の自転車専用道路を走るのはとても気持ちが良い。暫く走ると大磯プリンスホテルの駐車場に入り、ここから右折して国道1号線に入る。夏にはプリンスホテルにある大磯ロングビーチのプールが賑わう。昭和時代は水着の芸能人の運動会をやっていた。今から思うとエロい映像も流れていた。

国道1号線は相変わらず混んでいるが流れは順調。左手に吉田茂旧家を、右手に城山公園(旧三井財閥の別荘跡地)を見ながら一路、二宮を目指す。二宮はこれと言って記憶に残る名所旧跡は無いのでひたすら自転車を漕ぐ。平坦な海岸線だが一箇所、押切坂の一里塚に急な坂道がある。国府津駅の目の前を通過し、マダラ模様にある松並木の名残を楽しみながら酒匂川までくる。酒匂川はキレイな清流です。川石がいい。15年前にこの川で採石した。西丹沢の地層の破片が石として流れ着いて一面に広がっている。



図2-2 みんなよく知っている小田原城 天守閣からの眺めが殿様気分

小田原の街が近づくと急に賑やかく様々な神社仏閣や建物が増える。城下町の風景が随所に感じられる。小田原駅を過ぎるとすぐに小田原城の入り口である。広いからいくつも入り口がある。正面入り口(馬出門)から城内に入り見学する。

●歴史

北条氏は、居館を今の天守の周辺に置き、後背にあたる八幡山を詰の城としていた。3代当主北条氏康の時代には難攻不落、無敵の城といわれ、上杉謙信や武田信玄の攻撃に耐えた。江戸時代に居館部が近世城郭へと改修され、現在の小田原城址の主郭部分となったが、八幡山は放置された。そのため、近世城郭と中世城郭が江戸期を通して並存し、現在も両方の遺構が残る全国的に見ても珍しい城郭である。

小田原城と言えば(後)北条家と豊臣軍の戦いが有名です。小田原城包囲の戦いは天正十八年(1590)四月三日から始まり、七月五日、北条氏直は開城して降伏した。戦国大名後北条氏の滅亡となった。(ウィキペディア(Wikipedia))

●データ

築城主 大森頼春
築城年 応永24年(1417年)
主な改修者 杉村氏、北条氏綱、氏政、氏直、大久保忠世、稲葉正勝
主な城主 後北条氏、阿部氏、稲葉氏 大久保氏
廃城年 1871年(明治4年)
遺構 石垣、土塁、水堀、空堀、大堀切、土塁、郭、障子堀跡
指定文化財 国の史跡(Wikipedia)

2.石垣山一夜城(2024年9/9晴れ)

まずは小田原を目指して国道1号線を西に下る。海岸線なので平坦であるが、夏の暑さにやられる。小田原城址公園を右手にみながら早川駅方面に行く。早川駅手前、スマホの地図によると何やら狭い農道コースに入るようになっていく。大丈夫か？ここはミカン畑、軽トラが走るコンクリとアスファルトの山道が四方八方にある。急坂は自転車を押し歩きする。本当にスマホの地図(狭い道はアップル地図が良い)を信じていいのか心配になりながらクネクネと坂道を登る。相当にシンドイが途中に小田原の街並みと青い相模湾が見える。今はまだ9月初めだからミカンもまだ緑色だが12月になれば黄色に色づく。



図2-1 石垣山一夜城までの行程と自転車走行距離 45km

やっと石垣山一夜城の駐車場に到着する。オシャレな喫茶店があると思ったら、そこは鎧塚ファームの洋菓子店でした。たしか女優川島直美(2015年9月24日(54歳没))の旦那さんの店として有名です。暑いのでソフトクリームを外で食べている人が目立つ。私はそういう洋菓子店には入りません。藤沢の美味しい氷水をペットボトルから飲み、塩飴でミネラルを補給する。あー幸せ。

なぜここに店が？辺鄙なところと思った。しかし、車なら話は別。小田原から20分ぐらいで山道を登り、絶景の小田原の夜景を楽しめる。デートコースにぴったりです。季節の花とハーブのガーデンがオシャレ感を演出してくれました。いかにも若い女の子がすきそうなコンセプトです。汗臭い貧乏親父が近寄ってはいけません。

さて、城廻をしよう。入り口に古い石垣があって雰囲気がいかに山城感がでている。どうやってこの大きな石を麓から運んだか？入り口の急な登りを過ぎると広い芝生の斜面になる。ここから城の跡地の説明が始まる。今日はピーカンで暑い。2024年は世界も日本も最高温度の7、8月であった。9月9日の重陽の節句も真夏だ。年配の夫婦がチラホラみえる。若い騒がしい人は鎧塚ファーム目当てだから、ここまでは来ない。藪蚊がうるさいので足早に巡って下の駐車場まで降りた。今日は疲れたから小田原駅から輪行で帰るとする。苦勞して登った農道も帰りはブレーキの効きを心配しながら慎重に下る。この折りたたみ式自転車はディスクブレーキだから少しは安心です。



図2-2 石垣山一夜城の石垣 と 山からみる小田原街

●歴史

豊臣秀吉が天正18年(1590年)の小田原征伐の際に構築した。石垣山城は標高261.9mの天守台を頂点に、東西270m、南北550mにわたって丘陵上(石垣山)に位置していた関東で最初に造られた総石垣の城であったとされる。

構築中は小田原城から見えないように築き、完成後に周囲の木を伐採したため、北条氏側にまるで一夜にして築城されたかのように見せて驚かせたとする逸話も残る。

(Wikipedia)

●データ

別名 石垣山一夜城

城郭構造 梯郭式山城

天守構造 あり[1]
築城主 豊臣秀吉
築城年 天正18年(1590年)
主な改修者 なし
主な城主 豊臣氏
廃城年 天正18年(1590年(Wikipedia))

●おまけ、鎧塚ファーム（洋菓子店）

暑いのでソフトクリームの行列がありました。私は藤沢の美味しい水をペットで凍らせてた冷や水で喉を潤す。ここから見る相模湾と小田原市街が最高でした。



3.河村城(山北町,2024年10/14晴れ)

まずは神奈川県西の端の山北駅まで輸送するため東海道線と御殿場線に乗る。御殿場線は神奈川県の国府津駅から静岡県沼津駅まで富士山の麓を走る。藤沢から国府津駅までがJR東のスイカ圏内。御殿場線は全線がJR東海のトイカの圏内。相互清算できる機器が設置していない。そもそも過疎地が多く無人駅が大半だ。故に電子切符システムは全く使えず不便極まりない。日本人でも頭に来るから外人には絶対にわからない。今日は藤沢駅で山北駅まで770円の紙の切符を購入した。リアルな切符を買うのは本当に久しぶりだ。



図3-1 山北駅一河村城一自宅までの行程と自転車走行距離50km

東京一小田原の東海道線は朝なら例えば日曜祝日でも10分おきに電車が出ている。問題は御殿場線の本数が少ないから国府津で待たされる。接続の電車の遅れもあり、35分待つて乗る。2両編成のワンマン列車。外国人もけっこう乗っている。どこへ行くのだろうか？降車は先頭車両の一番前のドアしか開かない。運転手兼車掌が切符を回収する。何年前の日本だ？と思う。重たい折りたたみ自転車を持って車両内を移動してやっと下車できた。予想外の試練にポンポンである。山北駅は町名にもなっているからそれなりの規模の駅と思ったが、駅前は無人数が多い。

自転車を組み立て、スマホの地図(アップル地図)を出して指示通りの道を進む。スマホのナビはグーグルマップとアップルマップを使い分けている。大通りをざっくり進む時はグーグルマップを使い、狭い道に入ったらアップルマップを使う。アップルマップは地図上に一時停止の標識があり、曲がり角の30m手前でアップルウォッチに振動とチャイムが鳴る。ぼんやり運転していても曲がり角を見逃さない。何回も助けられている。

山城の特徴として、登りがキツイ。河村城も麓からミカン畑のクネクネ農道を登る。まだ緑色のミカンがタワワに成っている。これだけ数があると摘果するとはないだろう。頂上付近は広い原っぱになっていて所々に城の施設跡がある。ちょっとした駐車場とトイレもあり最低限の観光地として成立している。原っぱの真ん中に展望台がある。お客さんは6人ほどいた。夏の蒼い富士山も見え、対岸の山には第2東名の工事現場が見える。見どころは河内川橋「バランスドアーチ」として日本最大の橋の建設現場だ。男の子なら胸踊る巨大な工事風景です。

原っぱで30分ほど過ごし山を下る。途中、大きな牡鹿が目の前の農道をひとつ飛びして走り去った。びっくりした。丹沢山塊の鹿による食害は知っていたが、もうこんなところまで広がっている。ミカンが好物だったらヤバイことになる。帰りは藤沢まで45kmほど走る。アップルマップに導かれ酒匂川サイクリングロードに入った。9kmにわたって川沿いにアスファルト道路がある。

所々に松並木があり、キレイな清流の川、キャンプ場、スポーツ広場と酒匂川を存分に楽しんだ。また酒匂川堤防や開拓の歴史の記念碑があり江戸時代からの人と川の戦いを想像した。たしか二宮金次郎も酒匂川下流の農村出身で、治水に貢献したと記憶している。最近、何故小学校に二宮金次郎の像（銅像や石像）が多いのか？動画（山田五郎が主演）を見て納得した。



図3-2 河村城跡の原っぱ

●歴史

平安時代末期に藤原秀郷の流れをくむ河村秀高によって築かれたとされる。建武の新政・南北朝時代に入ると、河村氏は新田氏に協力し南朝方につき、北朝方の足利尊氏と対峙したといわれ、1352年(南朝:正平7年、北朝:文和元年)から2年間、河村秀国・河村秀経らは新田義興・脇屋義治とともにこの城に立てこもり、畠山国清を主将とする足利尊氏軍の攻撃をしのいだとされる。

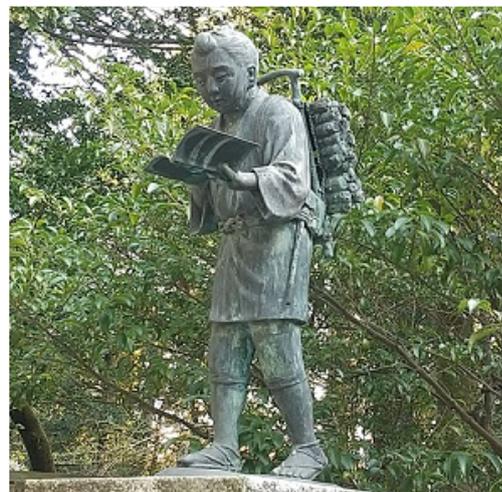
しかし、南原の戦いで敗れ落城し河村一族の多くは討死し、新田義興・脇屋義治は中川城を経て甲州に逃れたとされる。1590年(天正18年)の豊臣秀吉による小田原征伐で、この城は落城し廃城となった。(ウィキペディア(Wikipedia))

●データ

城郭構造	連郭式山城
築城主	河村氏
築城年	平安時代末期?
主な改修者	後北条氏
主な城主	不明
廃城年	不明(Wikipedia)

●おまけ

酒匂川の土手からみた開成町（ほぼ小田原）の稲作と富士。二宮尊徳も同じ場所で農地開拓していた。中央に小田急の電車が通過している。それを除けば江戸時代と同じ景色。



4. 今月の和み

下りの東海道新幹線に乗り新横浜を過ぎて左手遠方に平塚の湘南平の赤白のTV中継塔がみえてくる。その反対側、右手にカラフルな御伽話にでてくるような規則正しいメルヘンチックな家並みがある。今日、湘南平の自転車のヒルクライムが見事に失敗した帰りに謎のメルヘン地区を探検した。

ご覧のように坂がきつい。外見は洋風の絵本だが、中身は普通の日本人が生活できる住居となっていた。白雪姫にでてくる小人の家ではなかった。

調べると1974年に平塚市と東京急行電鉄(今の東急不動産)が開発したとある。もう50年も前。高度成長がそろそろ終わりになる頃です。私が高専の2年生の時(17歳)でした。

逗子マリーナも鎌倉霊園を作った残土で小坪海岸を埋め立てて開業したのが1971年。1965年から1975年ごろまで日本全国至る所で土地造成が盛んだった。中にはハザードマップど真ん中の土地開発も行っていた。それがわかるのは20年後、実際に大規模災害が起きた後のことでした。



図4 平塚市日向岡のメルヘンチックな家並み